

RISE クリエーション

『RISE DEAD OR ALIVE 2020 Yokohama』

2020年10月11日（日）神奈川・ぴあアリーナMM

▼第6試合 RISE DEAD OR ALIVE 2020 -63kg トーナメント準決勝② 3分

3R 延長 1R

○原口健飛（FASCINATE FIGHT TEAM/第6代 RISE ライト級王者）

判定 3-0 ※30-29 30-28 30-28

●西岡蓮太（龍生塾/SB 日本ライト級王者、KNOCK OUT CHAMPIONSHIP.1

無法島 GRAND PRIX 王者）



原口がハイキックを西岡に蹴り込む

原口は、三日月蹴りや強靱なフィジカルを武器に、ここまで18戦16勝1敗1分と抜群の勝率を誇るRISE ライト級王者。前戦は8月のRIZINでは大雅から3度のダウンを奪い、1R KO勝利している強豪だ。

西岡は、シュートボクシング日本ライト級王者で、今年の2月にはKNOCK OUTのワンデーターナメントを制しベルトを獲得している。-63kg 最強を決めるのに相応しい選手が、RISEのリングに殴り込みだ。

1R、プレッシャーをかける原口が、鋭い左ミドルキックをヒットさせる。パンチで前に出る西岡だが、原口はボディからのワンツー、ミドルを繰り返す。さらにジャブの連打で西岡をコーナーに詰める原口。いつもはステップを駆使する原口が、どっしりと構え詰めるのが印象的。



西岡も反撃するが原口がかわず

2R、大ぶりのフック連打で飛び込む西岡に、原口は冷静にかわしハイキック、ダッキングからのパンチを返す。原口の圧力は変わらず、西岡はロープを背負い続ける展開に。

ここまでまともに西岡の攻撃をもらっていない原口だが終盤、西岡の連打が

原口にかすったか。ラストは原口がハイキックからの豪快な後ろ回し蹴りを空
転させゴング。



判定で勝利した原口

3R、原口がなおもフェイントをかけながら詰める。西岡の飛び込のパンチ
を交わしては、原口は即座にショートフックのコンビネーション、ステップバ
ックしてはミドルで返す。飛び込みの攻撃はほぼいなされる西岡。

終盤、西岡がフックのワンツースリーでかすらせるも、原口が即座に打ち返
す。最後は原口が二段蹴りからのロングのワンツースリーをヒットさせ、印象の良い
まま終わる。

判定は3-0と差をつけ原口が完封勝利。これでトーナメント決勝は原口
と、先に進出を決めた直樹との対決となった。